



第9号

(2013年) 平成25年7月

発行・編集／改革・新風  
 長野県庁県議会棟内(026)232-0087  
 発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK  
<http://www.kaikaku-shinpuu.com>

長野県議会 改革・新風  
**県政対話集会**  
 2013年10月22日(火) **入場無料**  
 PM 6時～  
 佐久穂町婦人研修センター  
 お気軽にご来場下さい

次回開催予定  
 次の県政対話集会は、2014年1月下旬、安曇野市での開催を予定しています。

**常任委員会、特別委員会** (◎委員長 ○副委員長)

常任委員会、特別委員会の構成が決まり、3年目のスタートです。委員長3ポスト、副委員長4ポストを指名いただきまして活動しています。

総務企画警察	倉田竜彦	竹内久幸	○山岸喜昭
健康福祉	◎吉川彰一	中川博司	
環境商工観光	◎下沢順一郎	野澤徹司	荒井武志
農政林務	甕 裕一	続木幹夫	
危機管理建設	小島康晴	○依田明善	
文教企業	堀場秀孝	○石和 大	
議会運営	竹内久幸	○荒井武志	続木幹夫
決算特別	◎甕 裕一	中川博司	石和 大
広報	山岸喜昭		

県民の皆様の、大きな期待と信頼に全うするために力を挙げて取り組んでいきますので今後とも御支援、御指導を重ねてお願い申し上げます。

**「しあわせ信州創造プラン」**  
 (長野県総合5か年計画)  
**確かな暮らしが 営まれる美しい信州**  
 未来への夢や豊かな暮らしの実現は、県民の願いであり、新しい時代にふさわしい長野県づくりのために、改革・新風は、この計画に基づき課題や方向性を、県民の皆さんと共有しながら、選択と集中により必要な施策を着実に推進していきます。  
 私たちの活動範囲は、様々な分野において広範囲にわたっており、これからはさらにもっと広がります。

**教育の再生** 9億1700万円余  
 学校と県民の協働による地域に開かれた信頼される学校づくりを推進するため、学校

**心の健康支援策の充実** 1億4000万円余  
 自殺者数を減少させるためきめ細かな相談と集中的な広報を実施するとともに、高等学校へのスクールカウンセラーの派遣を拡充  
**子育てを支える環境づくりの拡充** 9億6400万円余  
 病児・病後児保育や小規模児童クラブを新設するため国庫補助対象外の施設整備を支援 1800万円余  
 企業が子育てのしやすい職場環境を整備するため推進員による支援を実施 2900万円余

**平成25年度6月 補正予算のポイント**  
 「しあわせ信州創造プラン」の実現に向けて、「地域の元氣臨時交付金」も活用しながら総額で158億6000万円余の補正予算を決定し、以下の施策に重点的に取り組むこととなりました。以下主な施策を紹介いたします。  
**研究開発支援や人材育成の強化等による産業支援の充実** 58億9400万円余  
 ■航空宇宙産業の育成・強化に向けた支援 5000万円  
 ■工業技術総合センターに「しあわせ信州食品開発センター」を整備し食品の試作開発を支援 1911万円  
 ■農業の6次産業化を推進するため支援体制を整備 3900万円余  
 ■農業大学校「実践経営者コース」の新設(平成26年度)に必要な施設・機械等を整備 4億6000万円余  
**自然エネルギーの活用や省エネルギー対策の推進** 10億5700万円余  
 ■県産材を活用した木質バイオマスの利用促進を図るため加工・利用施設の導入  
 ■キッセイ文化ホールでESCO事業を導入  
**心の健康支援策の充実** 1億4000万円余  
 ■自殺者数を減少させるためきめ細かな相談と集中的な広報を実施するとともに、高等学校へのスクールカウンセラーの派遣を拡充  
**子育てを支える環境づくりの拡充** 9億6400万円余  
 ■病児・病後児保育や小規模児童クラブを新設するため国庫補助対象外の施設整備を支援 1800万円余  
 ■企業が子育てのしやすい職場環境を整備するため推進員による支援を実施 2900万円余  
**教育の再生** 9億1700万円余  
 学校と県民の協働による地域に開かれた信頼される学校づくりを推進するため、学校



**滋賀県立大学視察**  
 滋賀県立大学では短大から4年制に移行した経過と課題、また、現在の運営状況を中心に調査すると共に、キャンパスも視察してきました。この大学は、平成7年に県立短期大学から4年制大学として

**滋賀県庁視察**  
 6月定例会を前に、今年度長野県議会において、焦点となると思われる施策の先進事例の視察として、5月21日に滋賀県庁で「滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例」の推進に関する条例「再生可能エネルギー振興戦略プラン」議会改革について「琵琶湖の環境浄化について」同22日には、滋賀県立大学で調査を行いました。  
 主な内容は次の通りです。  
 1、「滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例」について  
 平成23年3月に制定したこの条例の内容や課題、条例に基づき平成24年3月策定した「低炭素社会づくり推進計画」温暖化の農業・水産業への影響に対応した「滋賀県農業・水産業温暖化対策総合戦略」について調査。  
 2、「滋賀県再生可能エネルギー振興戦略プラン」について  
 平成25年3月に策定した

て開学し4学部13学科からなる総合大学で、現在2千800余名の学生が学んでいます。開学の精神は「滋賀県における学術の中心として、新しい時代を切り拓き、広い視野、豊かな想像力ならびに先進的な知識及び技術を有する有為の人材を養成する大学」としています。  
 とりわけ、環境学部は内外の評価が高く、全国から優秀な学生が集まっています。またキャンパスは32haにおよぶ広大な敷地に日本様式(切妻屋根)を基調とした研究棟などが建ち、とても美しいキャンパスでした。  
 本県も現在、長野県立短期大学の4年制化に向けて、検討中ですので、今後の参考にしたいと思っております。



滋賀県立大学視察



滋賀県庁視察

琵琶湖を県の中央に持つ滋賀県では、水環境に関する意識も高く、農村整備の面でも、通常の基盤整備と併せて、住民参加を基本とした環境保全を独自に展開していることについて調査。  
 3、「議会改革」について  
 県民からの公募を含めた改革検討委員会の検討内容について、例えば、県民に興味を持ってもらうための取り組み、住民との協働による監視機能の発揮、傍聴者を増やす取り組み、ツイッター導入等、現状や課題について調査。  
 4、「琵琶湖の環境浄化」について  
 琵琶湖を県の中央に持つ滋賀県では、水環境に関する意識も高く、農村整備の面でも、通常の基盤整備と併せて、住民参加を基本とした環境保全を独自に展開していることについて調査。